

2013年から続けてきた「座光寺19地区探訪」が前号で終わり、座光寺便は今回から新たな企画でスタートしました。

新企画を考えるにあたり、①いままでの成果を活かす(各地区で発見・紹介してきたものを、座光寺全体として一つのテーマに再編集する)、②次代につなぐ(次世代の、地域の歴史文化への興味・関心を喚起する。現在ある歴史文化への学びを次代につなげていく)の2点を基本方針としました。

その第一号として、今回は「坂道」を取り上げました。「段丘地形だから坂道」という発想でしたが、人々が通い歩いた味わい深い坂道に出会えました。

座光寺便では今後も地域の歴史文化に目を向け、少しでも興味関心をもってもらえるよう力を尽くしていきたいと思っております。みなさんの当紙へのご意見等をお聞かせください。

次号の発行は2020年3月の予定です。扱うテーマは「座光寺の石垣探訪」(予定)。ご期待ください。



# いにしへの坂道

段丘地形の座光寺には、上下を結ぶ坂道が数多くあります。今も現役の坂道、かろうじて命脈を保っている坂道、誰も通わず絶えてしまった坂道…。古き坂道のいくつかを訪ね歩いてみました。

下羽場の坂

## 信州飯田 麻績の里 座光寺便

— 2019.12 —  
ZAKOJIBIN  
No.31

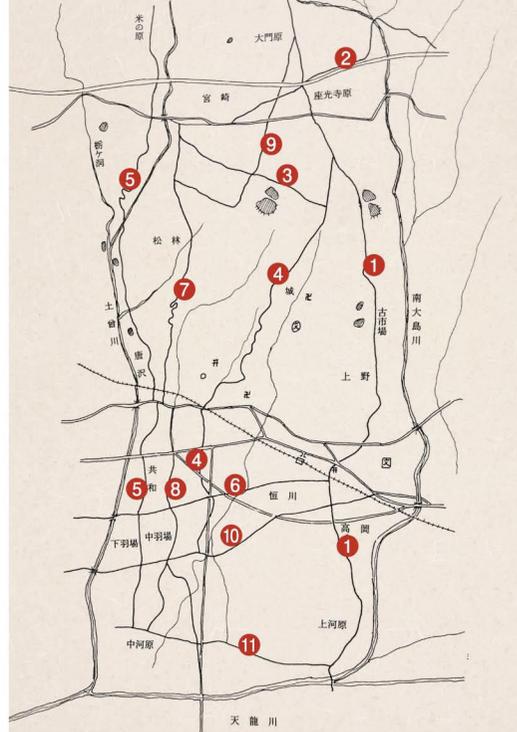
座光寺の居住地と農耕地は、断層・段丘により4つの面から成り立っています。最上段の大門原面と下段の河原面は江戸時代に耕地として拓かれました。その間にある元善光寺面(中段)と松林面(上段)は、早くから拓け、人の定住がありました。古くからの坂道はこの上段と中段、中段と下段を結んでいます。



## 拾線道路と坂道

日露戦争で日本経済は疲弊し、その影響は地方にも及びました。座光寺ではこの不況を打開しようと、お金や土地、労力を出し合せて道路の公共工事に着手しました。荷車が通れる幅2メートルほどの道路を10本程度造ることから「拾線(じっせん)道路」と呼ばれました(左図1~11)。

工事は農閑期を中心に明治39年から45年頃まで続けられました。その後も改修工事が続けられ、現在に至っています。本紙に載せた坂道も、大半はこの拾線道路上のものです。



- ① 高岡・古市場線
- ② 牛牧線
- ③ 横道線
- ④ 稲荷坂・欠野線
- ⑤ 雨坂・下羽場線
- ⑥ 中線
- ⑦ 浅間坂線
- ⑧ 流田・中羽場線
- ⑨ 大門原線
- ⑩ 恒川線
- ⑪ 下羽場上河原線

## 上段と中段を結ぶ

上段(松林面)と中段(元善光寺面)は、高低差の大きな見晴山断層崖で分けられています。このため上段と中段を結ぶ坂は急で長いのが特徴です。

### 雨坂



### 雨坂「あまさか」

名前が拾線道路「雨坂・下羽場線」にある。上段に至る未舗装のつづら折れの道は、時代を感じさせる。坂自体は上郷地籍だが、登り切ったところは座光寺。

### 浅間坂「せんげんざか」

拾線道路「浅間坂線」に名前があり、浅間岩跡に上る道。道幅は狭いが舗装されている。

### 稲荷坂「いなりざか」

拾線道路「稲荷坂・欠野線」の一部で、座光寺を代表する坂。南本城と北本城を分ける洞沿いの急な坂道で、車の通行量も多い。北側にはさらに急な通学坂が整備されている。北本城本沢に沿って延びる導水管は、昭和初期から操業していた発電所に水を送っていたもの。

### 浅間坂



### 万才縦道「まんざいたてみち」

座光寺原の信号やや下から耕雲寺下に至るすぐ延びる、なだらかな道。果樹園内を通っている。

### 新墓地への坂道

農協座光寺支所跡地から金井原瓦窯跡を通り、新墓地に至る坂道。上りきったところからの眺めが良い。

### 稲荷坂



## 中段と下段を結ぶ

天竜川に削られた河岸段丘が中段(元善光寺面)と下段(河原面)を隔てています。昔からある比較的短い坂が、中羽場、下羽場に集中しています。地名の「羽場」が示すように、ここは段丘先端に近い平地で、下の河原に下りるための坂道が数多くあります。

### 下羽場の坂



### 下羽場の坂「しもはばのさか」

拾線道路「雨坂・下羽場線」の東の端に当たる。なだらかに曲がり下る狭い道だが、道路脇の石垣が歴史を感じさせる。

### 阿弥陀堂の坂「あみだどうのさか」

中羽場阿弥陀堂は文政年間(1818~)に現在地に移転新築された。坂は阿弥陀堂前から喬木線の三叉路までと短い。

### 喬木線



### 喬木線

大正2年に竣工した郡道「喬木線」の一部。堅牢な石積みの側壁は、かつての幹線道路を思わせる。坂の中ほどに馬頭観世音・馬霊碑が安置されている。

### 欠野坂「かけのさか」

変電所西の竹藪の中に、「欠野坂」と呼ばれた古い坂道がある。現在は人も通わず命脈を終えているが、坂を下ったと

### 欠野坂



### 阿弥陀堂の坂



ここに「阿島界まで五百七十間」と印された境界目安石が残されている。

### 白山の坂「しらやまのさか」

清水地区の段丘先端部から河原に下りる坂道。現在はほとんど使われていない。帯は湧き水が豊富で、白山下のホタル自生地も近い。

### 白山の坂



### 車坂「くるまさか」

国道の「座光寺高岡」信号から東に下る坂道。拾線道路「高岡・古市場線」の中段と下段を結んでいる。昭和24年、26年頃に改修が行われている。

### 車坂

